

きよつ総社市と

A M D A 派遣

職員ら栃木支援へ

総社市と国際医療ボランティアA M D A（本部・岡山市）は11日、豪雨に伴う土砂災害が発生した栃木県日光市の緊急支援活動として市職員3人、調整員1人を12日に派遣すると発表した。活動は14日までの3日間の予定。

一行は12日午前に岡山空港を出発し、JR東京駅から東北新幹線で現地入り。

災害対策本部で被災状況や支援ニーズなどの情報収集を行う。ばんそうこうや湿布薬、ウエットティッシュといった救援物資を持参するほか、さらに必要な物資は現地で調達する。

総社市とA M D Aは2009年、人道的な視点に立った活動で連携する協定を締結。合同の緊急支援活動は11年のブラジル・リオデジャネイロ豪雨災害、東日本大震災、昨夏の広島土砂災害に次いで4件目。

（水嶋佑香）